

報道関係各位

▲ 三菱商事都市開発

2025年9月22日

株式会社奥村組 三菱商事都市開発株式会社



大阪市「平野駅」駅前における複合開発 「(仮称)大阪市平野区複合開発計画」商業施設着工のお知らせ

株式会社奥村組(本社:大阪市阿倍野区、代表取締役社長:奥村太加典、以下「奥村組」)と、三菱商事都市開発株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森田憲司、以下「三菱商事都市開発」)は、2025年9月22日、大阪府大阪市平野区(以下、「本計画地」にて NSC*(近隣型ショッピングセンター)の新築工事に着手したことをお知らせします。本工事は2027年冬の完成を予定しています。

*NSC とは、Neighborhood Shopping Center の略で、食品スーパーマーケットを核店舗とし、近隣の住宅街などを商圏とする比較的小規模なショッピングセンターのこと。三菱商事都市開発では「近隣型ショッピングセンター」としています。



完成予想イメージ

本計画概要

本計画は、奥村組の所有地を三菱商事都市開発が借地し、商業施設および物流施設の開発を行うものです。このたび着工するのは NSC(近隣型ショッピングセンター)で、核テナントとしてスーパーマーケット及び家電量販店の出店を予定しています。地域の日常生活をより豊かにする施設を目指し、活気あふれる街づくりに貢献します。

立地特性

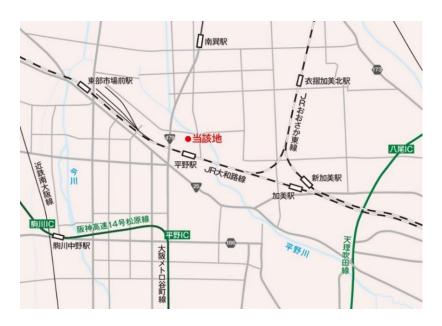
本計画地は、JR 関西本線「平野」駅から徒歩 2 分の場所で生活道路沿道にあり、周辺は中低層住宅主体で町工場等も混在する生活地です。計画地西側には大阪内環状線が通っており、自動車でのアクセスも良く、広域からの集客が見込めます。 奥村組と三菱商事都市開発は、本計画地の特性を生かした NSC の開発事業を行います。

(仮称)大阪市平野区複合開発計画(商業)概要

所在地(地番)	大阪府大阪市平野区平野北1丁目8-2
交 通	JR 関西本線「平野」駅 徒歩 2 分
敷 地 面 積	8,255 ㎡ (約 2,497 坪)
延床面積	20,633 ㎡ (約 6,241 坪)
構造・規模	鉄骨造、地上4階建
設計・施工	森本・大豊特定建設工事共同企業体
テナント	スーパーマーケット・家電量販店他
竣工時期	2027 年冬(予定)



周辺地図



三菱商事都市開発の商業施設開発計画

施設名称	計画地	竣工予定
(仮称)東村山市野口町商業施設計画	東京都東村山市野口町	2026年夏
(仮称)鎌倉市梶原商業施設開発計画	神奈川県鎌倉市梶原	2026年夏
(仮称)所沢市小手指町商業施設計画	埼玉県所沢市小手指町	2026 年秋
(仮称)大阪市平野区複合開発計画(商業)	大阪府大阪市平野区	2027 年冬

株式会社奥村組について

株式会社奥村組は、1907年の創業以来、「堅実経営」と「誠実施工」を信条に、事業を通じて社会に貢献することを使命としています。 これからも技術の研鑽を積み重ねるとともに社会のニーズの変化に柔軟に対応しながら、土木・建築両事業に投資開発事業等を加えた総合インフラストラクチャー企業として、建設会社の枠を超え、人々の快適で安全・安心な暮らしと美しい自然を両立させた持続可能な社会の実現を目指し、着実に歩みを進めていきます。

株式会社奥村組 大阪府大阪市阿倍野区松崎町2丁目2番2号 代表取締役社長 | 奥村 太加典 https://www.okumuragumi.co.jp/

三菱商事都市開発株式会社について

三菱商事都市開発株式会社は「構想力と実現力で、都市の未来を育む。」を Purpose として掲げ、インダストリアル領域とリテール・エンターテインメント領域を中心に型にはまらない不動産・都市開発を行っています。 インダストリアル領域ではドライ物流倉庫に加え、自動倉庫を含めた冷凍冷蔵倉庫やマルチテナント型製造・研究開発施設(innoba(イノーバ))、マルチテナント型ライフサイエンス研究開発施設(アイパーク神戸(仮称))の開発にも注力しております。また、リテール・エンターテインメント領域では都心型商業施設や NSC(近隣型ショッピングセンター)、ホテルの開発に加え、横浜赤レンガ倉庫等におけるイベント事業も手掛けています。更に、アリーナ等を核とした大規模都市開発にも取り組んでいます。

今後も国内外における幅広い産業・顧客接地面を持つ三菱商事グループの総合力を最大限に活かし、お客様やパートナーとともに都市の可能性を開いていきます。

三菱商事都市開発株式会社 東京都千代田区有楽町1丁目5番2号 東宝日比谷プロムナードビル7階 代表取締役社長 | 森田 憲司 https://www.mcud.co.jp